

令和4年度第1回「千歳市子ども・子育て会議」会議録【公表用-要約版】

日 時	令和4年6月23日(木) 13時30分～15時00分	
会 場	千歳市役所第2庁舎 会議室5・6	
出席者	委員 ※50音順	
	会 長	吾田 富士子
	委 員	石岡 くに子
	委 員	磯貝 孝
	委 員	大関 恵子
	委 員	大前 江津美
	委 員	小川 真智子
	委 員	河岸 由里子
	委 員	斉藤 創
	委 員	三溝 昌宏
	委 員	西 博康
	委 員	松澤 菜緒
	委 員	三浦 朋美
	委 員	村田 勢津子
	委 員	桃井 香織
		こども福祉部長 林 伸一
		こども福祉部次長 中村 康文
		こども政策課長 林 宏明
		こども政策係長 大野 晃史
		こども政策係主任 土田 祥子
		こども政策係主事 鈴木 貴也
		保育係長 阿部 さやか
		給付係長 佐々木 拓人
		市(関係部署)
		こども家庭課長 山田 浩之
		子育て総合支援センター長
		石津 智彦
事務局	こども福祉部こども政策課	
会議の公開	公開	
傍聴者数	なし	

1 開会

委員数16人中14名の出席につき、会議が定足数(委員の半数以上の出席)を満たしていることを確認。

2 部長あいさつ

3 議事等

(1) 令和4年度教育・保育施設等の利用定員について

教育・保育給付を行うにあたり、市町村は就学前の子どもの認定区分毎の利用定員を定める必要があり、あらかじめ地方版子ども子育て会議等の意見を聞かなければならないとさ

れている。また、子ども・子育て会議条例施行規則第2条第4号の規定のため、特別の利害関係を有する委員（特定教育・保育施設の運営にかかわる委員）6名は、審議の間、退席。

【こども政策課長から、資料1-1（非公開）、1-2、1-3について説明】

（審議内容については、千歳市情報公開条例第9条（5）の規定に基づく非公開事項につき、省略。）

（会長）

皆さんご質問はありますか。

（A委員）

今回減員した人数というのは、今回広報のほうで13か月間人口減ということと関連性があるのか。また、出生率との関連性について教えていただきたいです。

（こども政策課長）

人口の推移との関連性については、はっきりとした事は言えませんが、人口が減った分働いている方が増えるとなると、保育園や幼稚園を利用するお子さんが増えるということになりますので、色々な社会状況、女性の社会進出も絡み合っただけの数値になっているのかなと思います。

出生率の低下については、たしかに減少傾向にあるのは事実ではありますが、分析と原因特定が中々できないと思っています。皆さん出産に対して考えが異なり、複合的な理由からそのような現状になっているのかなと思っています。千歳市としては計画にもありますけれども、100を超える子育て支援事業があり、色々なニーズにきめ細かく応えていくということが一番の近道と考えています。

（A委員）

子どもは宝であって、千歳市はとび抜けて恵まれた状況にあるのかなと思っています。我々市民としても努力すべきことがあると思うのですが、行政でしか捉えられないものがあると思うので、しっかりと捉えていただき未来に向けて行っていただけたらと思っています。

（B委員）

保育施設について、希望通りの施設に入園できているかなどは調査しているのでしょうか。

（こども政策課長）

全ての方が第1希望、第2希望の施設に入られるということは、大事なことで認識はしていますが、極端な話でいくと全ての方が同じ施設を第1希望にするとその施設の定員を3,000人程度にする必要があります。そのため、市全体としてバランスを考えながらやらせていただき、できる限り保護者の方と相談をさせていただきながらご理解いただいているところです。ご質問いただいた内容は問題であるという事は認識しております。

(会長)

人気があるところはどのようにして人気なのか、数と質の問題というのは常に大事で最初選ばれない園の場合どういうことが求められているのか、そういった園の質の向上を図るということもひとつ課題かもしれません。

他にご質問はありませんか。なければ議事(1)については事務局の提案どおりといたします。

(非公開資料を回収)

特別の利害関係を有する委員6名着席。

(公開資料配布)

【林こども政策課長から、資料1-2、1-3について説明】

(2) 保育士養成学校の開設について

【こども政策課長から、資料2について説明】

(会長)

私も保育士養成校に勤めていますが、数年前から保育士養成校は潰れていくだろうと言われ、年々保育士養成校は減少傾向にあります。今ある保育士養成校自体も定員を満たしていないところがほとんどという現状にあります。通信教育課程の学校は新型コロナウイルス感染拡大により、需要は増えていると思います。

(C委員)

学生募集はどういった範囲で行うのですか。

(こども政策課長)

石狩管内を中心に考えています。市内では、教育・保育施設で資格はないけれども補助者として働いている方や高校などにも案内をする予定です。今後は、学校側とも協力し積極的な展開を行い、保育士確保に繋がっていきたいと思っています。

(D委員)

入学試験などはありますか。

(こども政策課長)

入学申し込みの際に作文の提出があり、それが書類審査となります。書類審査を経て入学となります。

(E委員)

入学金や授業料についてはいかがでしょうか。また、私はスクールカウンセラーをしていますが、保育士になりたいという声を聞くので、チラシ等ができれば高校生への配布など協力したいです。

(こども政策課長)

専門学校や大学の入学金や授業料に比べると安い料金であると考えています。チラシ等については用意でき次第送付させていただきます。ご協力に感謝いたします。

(会長)

資料2では、地域スクールは令和2年からとなっていますが、通信教育課程については令和2年から始まったものですか。

(こども政策課長)

通信教育課程については、小田原短期大学の本校では令和2年以前から行っています。今までは実習などの対面の授業については小田原市まで飛行機に乗って行かなければならなかったのが、千歳スクールができたことによって千歳で行うことができます。

(F委員)

保育士資格の取得にハローワークの助成制度を使う場合があると思うのですが、こちらの学校はその対象となるのでしょうか。

(こども政策課長)

ハローワークの助成制度については未確認でした。北海道社会福祉協議会でも資格取得に対する貸付制度がありますが、道内の指定学校に限定されているため本地域スクールは助成の対象とならないことは確認しています。今後は、北海道に対して貸付の対象となるよう働きかけていきたいと考えています。

(会長)

どんな方が学生として応募すると想定していますか。

(こども政策課長)

保育士の資格を取りたい社会の方が主となるのではないかと考えています。子どもの職に就きたいという方が、働きながら資格を取得する想定です。

(会長)

ご自身で国家試験受けても資格が取得できますよね。

(こども政策課長)

今回、この千歳スクールでは2年で幼稚園資格、もう1年通うと保育士資格を取得できます。2年で卒業はできますが、この段階では保育士資格は取得できません。国家試験の受験資格としては短大卒業以上の要件としており、本学校卒業後は短大卒業扱いとなるため、最短で取得するには2年で卒業し、ご自身で国家試験を受験していただくのが方法として1つあります。しかし、ご自身で受けられる場合は20%とかなり低いと聞いております。

(会長)

地域によって差があり、北海道は結構高かったと思います。

(こども政策課長)

3年間履修することによって、試験を受けずに卒業時に保育士資格を取得できますので、そこはご自身で選択していただくことになります。

(会長)

市内には認定こども園もありますので、両方の資格を持っているといいですね。  
他に質問はありませんか。なければ次に進みます。

(3) 令和4年度子ども・子育て関連新規事業について

【こども政策課長から、資料3について説明】

(会長)

千歳市独自の施策はありますか。

(こども政策課長)

事業1、2は市町村の事業であるが補助金が国から支給されるものです。

事業5は市独自の対策で財源は国となっています。

(会長)

事業5については1食分どのくらいの補助ですか。

(こども政策課長)

原則、基準より多く要した費用を補助する形となるため、1食分としては10円程度を予定しています。

(C委員)

事業1、3について、当園でも活用させていただき大変感謝します。

(B委員)

事業2の抗菌・抗ウイルス加工について、どういったものなのかお聞きしたいです。

(こども政策課長)

壁に薬剤を散布しコーティング加工した場所にウイルス等が付着すると不活性化するものであり、消毒作業が不要となるものではありません。散布することによって菌が広がりにくくなり、公共の施設ではすでに抗菌加工しています。抗菌加工には色々な薬剤の種類がありますが、小さいお子さんの体にも害はありません。

(E委員)

事業2について、消毒液の整備とありますが次亜塩素酸系の消毒液ですか。

(こども政策課長)

新型コロナウイルス感染拡大防止につながるもので、各園が購入したものを補償するかたちなので、消毒液の種類等は指定していません。

(会長)

事業2については、子育て総合支援センターや児童館等は含まれますか。

(こども政策課長)

子育て総合支援センターについては、令和3年度にすでに実施済みです。

(会長)

事業3・4について、教育保育施設や児童館等に勤務する職員以外で保育士として勤務す

る職員は対象となっていますか。

(こども政策課長)

事業3については教育・保育施設で勤務する保育士・幼稚園教諭等、事業4については児童館勤務の放課後児童支援員等としています。千歳市内で保育士等として勤務されている方全てが対象ということではありません。

(会長)

もし、千歳市として余力があるのであれば国が対象としている範囲外の保育士も対象としてほしいです。病院にも保育士がいるところがあり、そこでは保育士の手当が無いというところがあると聞きたいりします。

他にご質問はありませんか。なければ本日の報告事項については以上となります。

委員の皆さまにおかれましては本日で任期が満了することから、最後に一言ずついただきたいと思います。

(G 委員)

これまでありがとうございました。今後もしよろしくお願いいたします。

今回の保育士等養成学校の開校ということで、保育士の実習についてなんです、私の勤務する施設は障がいを持ったお子さんの施設になりまして、保育士の方でそういった障がいのあるお子さんに接したいということで保育士の実習の依頼もきたりします。通信教育の方は自分で実習施設を探さなければならず、昨年度は新型コロナウイルスの関係もあり、なんとかお願いできないかという依頼の電話があったが、なかなかすぐに受け入れられるものではありませんでした。そういったこともあり市で率先して取り組んでいくということに安心感があり心強いと思いました。

(D 委員)

こういった会議に出席させていただいて、自分の施設だけではなく子どもと保護者とそれを取り巻く社会と、それを良い方向に持っていく考え方が大切だなといつも勉強させられます。これまでありがとうございました。

(B 委員)

子育てする市民を支援するものとして、子育てする市民の声を数多く聞いてきました。子育てに関わる方々に、少しでもそういった市民の声を伝えられたのではないかと感じています。

最近では、他市からの転入者が幼稚園に入園させづらいという声を聞きます。入園の条件として兄弟姉妹が通園しているか、保護者が卒園児かどうかで入園に関わってくると聞いたので、転勤者の多い千歳市にそぐわないように思います。

もちろん、千歳市はとても素晴らしいまちですねという声もあります。中には転勤族の方で千歳市で家を建てたいという方がおり、実際に家を建てられた方もいました。

そういった方々に千歳市で家を建てて、住んで、子育てしてよかったと思ってもらえるよ

うな千歳市になってほしい思いながら、これからも子育て総合支援センターで頑張っていきたいと思います。

(H 委員)

これまで保育の現場で働く者として、少しでも声を届けられたのかなと思います。千歳スクールについて、実習期間で学生の方が保育の仕事を楽しいと思えるよう、現場として少しでも力になれたらと思います。これまでありがとうございました。

(I 委員)

子育てに関わる人たちが、少しでも良い方向に向かって考えてくださっているのが心強いなと思いました。これまでありがとうございました。

(E 委員)

会議発足からの9年間ありがとうございました。スクールカウンセラーとして相談を受ける中で、最近の傾向として自分の子どもをかわいと思えない保護者が増えているように感じます。その中で子育てするよりも、みんなで子育てをしていくほうが保護者にとっても、子どもにとってもプラスになります。精神疾患がなくても子育てがうまくできない方が増えていけば、この先子どもの数が減っていても保育の量としてはあまり減っていかないのではないかと感じています。これからはよりきめ細やかなケアなどが必要になってくるのかと思います。この会議を通してたくさん勉強させていただきました。これまでありがとうございました。

(A 委員)

この会議に参加した最初の方は、保育士不足が議題となっていました。今回会議では保育士養成校の開校という議題で、とても大きく前進している成長のあるまちだと感じます。また、もっとこうしてほしいなどの意見などは支援センターなどの相談として市民から聞く機会がありますが、千歳市のこの施策はすごくいいねというようなポジティブな意見を言いにくる人はとても少なく、またそういった声を聞くことはかなり少ないと思います。なので、これからは行政の方や我々のような市民が現場に行って、そういったポジティブな成功事例や意見を聞いて施策に反映していかないといけないかなと思いました。これまでありがとうございました。

(J 委員)

小規模保育所団体の代表として、現場の悩みや現状をお伝えさせていただきました。その中で改革されたものや改革に至らなかったものなどがありますが、少しでも現場の声を伝えられたかなと思います。これまで6年間ありがとうございました。

(F 委員)

保育士養成校が千歳にできるという事は素晴らしいことだと思います。地元の子が札幌の学校に行って、そのまま札幌で就職する方が多い中、地元の学校で学び、地元で就職できるようになるのはいいことかなと思います。

給食食材物価高騰緊急対策事業はどこの市町村よりも早いのではないかと思います。こ

れは子どもの食材の質を下げないという考え方でもあるし、事業者にとっても素晴らしい事業だと思います。今後とも、この会議を通していいものができたらと思います。これまでありがとうございました。

(K 委員)

私事ですが、今年保育士の通信教育を始めましたが、道内で全てのスクーリングができる場所は1校しかありませんでした。千歳スクールが開校されると聞いて、もう少し待ってあればよかったかなと思います。通信学校の入学はとても簡単ですが、テキストを使って自分で勉強したり、実習先も自分で探す必要があったり、とても大変です。この会議では様々な方の意見を聞くことができとても勉強になりました。これまでありがとうございました。

(L 委員)

千歳スクールの開校ということで、私自身介護系の職場に勤めているため、介護職のスクールも開校されたらいいなと思いました。6年間これまでありがとうございました。

(C 委員)

千歳スクール開校にあたり、この会議では課題が形になっていくのを見ることができ嬉しく思います。これまでありがとうございました。

(M 委員)

小さい子どもの支援策が多くありましたが、子育ては小学校、中学校、高校、大学とありますのでもう少しそちらも目を向けていただけたらなと思います。これまでありがとうございました。

(会長)

みなさま貴重なご意見ありがとうございました。会議発足から3期9年間携わらせていただき大変感謝しています。また、大関委員、河岸委員も3期にわたりやっていただきました。みなさん一人一人の熱い思いをお聞きするなかで、私の方が学ばせていただきました。保育の中身についてはこれまで大学で研究し、学生に教えてきましたが、制度については知らない部分が多く、国や自治体がどのようなことを行っているのかを教えていただきました。

これから少子化になっていきますが、医療的ケア児や障害のある子どもたちが保育園、幼稚園、小学校、中学校で共に学ぶことが強化されつつあります。そういったことも含めて、これからの保育・教育の内容についてももう少し考えていく必要があります。

また、この会議で千歳市には産院が少ないという声が9年間の間にありましたが、その課題を解決できるようにこれからの会議でも取り組んでいただけたらと思います。

私もこの会議を通して成長させていただきました。皆さまのいらっしゃる場でのご活躍を通して、千歳市の子どもたちが幸せになることを祈っております。これまでありがとうございました。

### 3 閉会